

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

3月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2026.5.20 No.119



特集

三本木獅子舞保存会 × 市議会

MENU

特集	P 2
税金の使い道が決まりました	P 4
議案等の審査結果	P 6
討論	P 8
常任委員会の審査・調査	P 9
会派代表質問・市政一般質問	P 13
Future	P 22

三本木 × 市議会 獅子舞保存会



受け継ぐのは、伝統と人のつながり



三本木獅子舞保存会

那須塩原市の三本木地区に伝わる、市の無形文化財である三本木獅子舞を継承するために、地域住民で構成された獅子舞の保存会であり、「三本木の春まつり」として、毎年3月下旬、三本木延命地藏尊に獅子舞を奉納し、奉納後は獅子による集落巡りを行なっています。獅子舞により地域がつながり、そのことで自治会加入率 100%につながっています。

<三本木の獅子舞の歴史を教えてください>

◆疫病退散祈願のために奉納される獅子舞です。起源は不明ですが、西大芦村（現鹿沼市）の関白流獅子舞から伝授されたといわれています。伝承によると、奉納を一時中断した際、隣村の下大塚新田とともに伝染病に襲われた村民は、獅子舞中断のたたりと憂い、小来川村（現日光市）獅子舞（文挾流）を伝授されて奉納を再開し、現在に至ったとされています。

<演目や特徴は何ですか>

◆獅子舞の演目は、「ふっこみ」「かたみ」「かんまし」「ざどり」「い

れは」など全部で 22 あり、約 1 時間かけて踊ります。

以前は口頭で伝えられていましたが、昭和 50（1975）年に三本木公民館の当時の分館長によって、演目を書いた掛軸が作られました。

<保存会の活動を教えてください>

◆獅子舞の踊り等は、三本木地区の長男を中心に引き継いできましたが、働き方の変化により、現在は参加ができる人で活動しています。3月の奉納前は、一日おきに練習し、練習後には懇親を深める信頼関係づくりを大切にしています。



<課題や今後の展望はありますか>

◆担い手が不足している昨今の中で、三本木地区以外の人をもっと関わりたいと考えています。三本木地区の宝をもっと広い地域の宝として捉え、担い手の育成と伝統を継承していきたいと思っています。

<資金面や道具の維持管理での課題はありますか>

◆今の獅子頭がボロボロになっていて補修しながら使っています。市の補助金は、衣装のクリーニング代にしかならないので、修繕費が不足しています。自治会や有志の協力を得ながら、壊れた部分を修繕し、長く使えるようにしたい

と考えています。

<獅子舞が地域で果たしている役割はありますか>

◆地域とのつながりです。世代を超えて人が集まり練習することで、地域の異世代間交流に貢献しています。

<子どもたちに伝えたい三本木獅子舞の魅力は何ですか>

◆郷土芸能として受け継がれてきた三本木獅子舞の大切さと、奉納の意味を次世代に伝えていきたいと考えています。

踊りの魅力や楽しさ、継続する中で得られる達成感に加え、仲間とのつながりも大きな価値だと

と思っています。

<地域住民の反応や期待はどう感じていますか>

◆奉納の踊りが終わると、地域内の家庭 80 軒を一軒ずつ回り、厄除けをしながらお札とお花を配っています。地域の方は、毎年獅子舞が家に来ることを楽しみにしてくれています。

<保存活動に対して行政に望むことはありますか>

◆私たちはこの獅子舞の活動を広めていくために努力をしています。市には獅子舞のような伝統芸能を市民に伝える広報活動にもっと力を入れてほしいと思っています。

令和8年度の税金の使い道が決まりました

令和8年度は、5年間の総合的かつ基本的な指針である「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」の4年目となります。持続可能な財政運営を確保しつつ、限られた財源を最大限有効に活用するため、後期基本計画の重点推進テーマ等に紐づく事業に優先的に予算付けがされました。この予算について議会で審査した内容と事業の一部について紹介します。

一般会計、特別会計、企業会計の8会計における予算について審査を行いました。皆さんに納めていただく税金の使い道について慎重に審査した結果、8会計すべて原案のとおり可決しました。

令和8年度予算

一般会計	651億6,614万円
特別会計	227億2,048万円
企業会計	
収益的支出	56億6,840万円
資本的支出	62億5,675万円

※一般会計予算及び企業会計予算は3月定例会議において可決した補正予算(第1号)を含んだ額です。

総務費

- 公共施設包括管理事業費 2億6,000万円
- 新庁舎整備事業費 61億1,135万円
- ふるさと寄附事業費 5億円
- 移住・定住促進事業費 1億6,414万円
- シティブランディング事業費 2,958万円
- 那須塩原駅周辺まちづくり推進事業費 2億704万円
- 行政情報システム管理費 6億2,419万円
- ゆーバス・ゆータク運行費 1億9,443万円
- 自治会活動振興費 5,178万円

問新庁舎整備にあたっての市有林の伐採について、場所と規模はどの程度か伺う。

答百村にある北那須水道事務所から山側へ上がったエリアである。対象は広い市有林の一部であり、伐採本数は約300本弱を予定している。



民生費

- 障害者福祉サービス給付費 46億449万円
- 障害者地域生活支援費 1億4,995万円
- 保育施設給付費 40億6,005万円
- 児童手当費 23億5,725万円

問本市で開催を予定している食品ロス削減全国大会の内容について伺う。

答食品ロス削減の日となっている10月30日に、市内の民間商業施設をメイン会場として開催したいと考えている。那須塩原らしさをアピールする大会にできるように検討していきたい。



衛生費

- 脱炭素社会構築推進費 8億6,496万円
- ごみ減量化対策事業費 1,695万円
- 那須塩原クリーンセンター管理運営費 10億7,305万円
- こども医療費助成費 5億5,752万円



問那須野ふるさと花火大会について、行政としてふるさと納税の返礼品やクラウドファンディングを活用した支援は考えられないか。

答クラウドファンディングによる支援については、企画部と連携しながら実現に向けて協議していく。また、民間企業の支援制度として、麒麟ビール株式会社が実施している全国の花火大会支援事業への応募も考えている。

- 畜産担い手育成総合整備事業費 2億4,393万円
- 堆肥センター管理運営費 2億2,698万円
- 環境保全型農業直接支援事業費 4,353万円
- 農業集落排水事業会計補助金等 7,156万円
- 有害鳥獣対策費 3,471万円

- 商イベント支援事業費 2,272万円
- 農観商工連携推進事業費 886万円
- 企業誘致事業費 1億6,776万円
- 観光振興費 2,889万円
- スポーツツーリズム推進費 1,790万円

農林水産業費 商工費



問木造住宅耐震改修費等補助事業費における補助金の内容について伺う。

答耐震診断により耐震性が低く、倒壊の恐れがあると判定された住宅について、補強工事や建て替えに対する費用を補助するものである。来年度は、改修5件、建て替え7件を予定している。

- 木造住宅耐震改修費等補助事業費 1,375万円
- 道路橋りょう管理費 1,145万円
- 道路維持管理費 8億3,227万円
- 道路除雪対策費 4,908万円
- 社会資本整備総合交付金事業費 2億5,003万円

- 地方創生道整備推進交付金事業費 2億2,163万円
- 都市計画総務費 2,793万円
- 空き家等対策事業費 5,032万円
- 市営住宅維持管理費 1億1,493万円

土木費



問ゆめみらい応援給付金基金の現在の残高について伺う。

答現在の残高は、これまでの600万円に加え、今年度の寄付1,200万円を合わせて1,800万円である。子どもたちの夢や学びを応援する財源として活用していく。

- 教育DX事業費 9億3,271万円
- 小学校施設整備事業費 6,373万円
- 中学校施設整備事業費 8億4,100万円
- ゆめみらい応援給付金基金積立金 1,209万円

- 那須地区消防組合負担金 19億4,361万円
- 消防団活動費 1億1,850万円
- 消防コミュニティセンター管理費 6,830万円
- 消防団施設・設備管理費 1,834万円

教育費 消防費

議案等の審査結果

本会議において審議された議案等の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第1号	那須塩原市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第2号	那須塩原市教育委員会委員の任命について	同意
同意第3号	那須塩原市教育長の任命について	同意
議案第1号	那須塩原市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第2号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について ①	可決
議案第3号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第4号	那須塩原市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
議案第5号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について ②	可決
議案第6号	那須塩原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び那須塩原市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
議案第7号	那須塩原市火入れに関する条例の一部改正について ③	可決
議案第8号	那須塩原市営住宅条例の一部改正について ④	可決
議案第9号	那須塩原市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について ⑤	可決
議案第10号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正について ⑥	可決
議案第11号	那須塩原市職員の寒冷地手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について ⑦	可決
議案第12号	令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第10号）	可決
議案第13号	令和7年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第14号	令和7年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第15号	令和7年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第16号	令和7年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第17号	令和7年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第5号）	可決
議案第18号	令和7年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第5号）	可決
議案第19号	令和8年度那須塩原市一般会計予算 ⑧	可決
議案第20号	令和8年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算 ⑨	可決
議案第21号	令和8年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算 ⑩	可決
議案第22号	令和8年度那須塩原市介護保険特別会計予算 ⑪	可決
議案第23号	令和8年度那須塩原市温泉事業特別会計予算	可決
議案第24号	令和8年度那須塩原市墓地事業特別会計予算	可決
議案第25号	令和8年度那須塩原市水道事業会計予算	可決
議案第26号	令和8年度那須塩原市下水道事業会計予算	可決
議案第27号	財産を支払手段として使用することについて ⑫	可決
議案第28号	那須塩原駅周辺まちづくり基本計画の策定について ⑬	可決
議案第29号	第2期那須塩原市環境基本計画の改定について ⑭	可決
議案第30号	大田原市から北那須流域関連那須塩原市公共下水道への区域外流入について	可決
議案第31号	公共施設等運営権の設定について	可決
議案第32号	那須塩原市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決

議案番号	件名	結果
議案第33号	那須塩原市技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例及び那須塩原市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決
議案第34号	令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第11号）	可決
議案第35号	令和8年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号） ⑮	可決
議案第36号	令和8年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
発議第1号	那須塩原市議会委員会条例の一部改正について	可決
発議第2号	那須塩原市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決

各議員の議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた案件のみ記載しています。

※会派構成は令和8年3月定例会議時点のものになります。

議案番号	シン・那須塩原										公明クラブ			なすの会			みらい共創			敬清会	日本共産党	りっけん市民の会	採決結果
	松野真弓	赤塚茂昭	小出浩美	林美幸	森本彰伸	齊藤誠之	相馬剛	松田寛人	齋藤寿一	矢島秀浩	星野健二	田村正宏	星宏子	三本木直人	佐藤一則	小島耕一	金子哲也	室井孝幸	山形紀弘				
議案第2号	■那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について ①																						可決
議案第19号	■令和8年度那須塩原市一般会計予算 ⑧																						可決
議案第20号	■令和8年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算 ⑨																						可決
議案第21号	■令和8年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算 ⑩																						可決
議案第22号	■令和8年度那須塩原市介護保険特別会計予算 ⑪																						可決

広聴広報委員会からのお知らせ

議案等の審査結果のページと委員会での審査内容のページの関連性を分かりやすくするため、番号を表示しています。

意第5号	那須塩原市副市長の選任について
意第6号	那須塩原市固定資産評価員の選任について
案第56号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算（第...）
案第57号	市道路線の認定について ③
案第58号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算（第...）
案第59号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第...）
案第60号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算（第...）

市任委員会

建設経済常任委員会

【審査分野】 都委員 ◎大野 齋藤寿一

県の道路が市に移管され、市が管理する道路が増えます ③

問 通学路の変更や除雪の計画といったものは変更になるのか。

答 変更は特にない。

問 今後市が管理運営することであるが、維持管理費はどのようになるのか。

陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	陳情者氏名	結果
1	令和8年2月10日	放課後児童健全育成事業補助金対象経費に関する陳情	稲見 祥太 ほか1名	継続審査

陳情第1号「放課後児童健全育成事業補助金対象経費に関する陳情」については、福祉教育常任委員会の審査のなかで、3月定例会議時点において是非を定めるのは時期尚早であり、協議がまとまったうえで判断すべきという意見が出たことを踏まえ継続審査となりました。
 ※継続審査とは、定例会議又は臨時会議の中で審査を終えられなかった請願や陳情などを、付託を受けた委員会が引き続き審査する手続きのことです。



議案第19号 令和8年度那須塩原市一般会計予算 ⑧

反対 ●新庁舎建設の工事費が10億5千万円増の147億5千万円と高額な費用となり、予算640億円の中でもこれが反映されている。市民サービスを低下させることの無いよう予算編成がなされるべきだと考える。(堤 正明議員)

賛成 ●DXやゼロカーボン等4つの重点テーマを軸に、児童・生徒用の端末更新や台湾留学支援、体育館の空調設置など未来への布石と生活向上を両立した予算である。地域共生社会の推進や有害鳥獣対策などにも着実に対応し、財政規律を保った編成であるため賛成する。(矢島 秀浩議員)

議案第20号 令和8年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算 ⑨

反対 ●新たな子ども・子育て支援金徴収は筋違いの制度であり、国庫負担で対応すべきである。「均等割」は赤ちゃんにも国保税を払えという制度で本市の子ども子育て支援策、移住定住促進策にも反することから反対する。(堤 正明議員)

賛成 ●令和8年度国民健康保険特別会計は前年度比減額予算とし、基金活用による国保税軽減や中間所得層への配慮、県の財政安定化支援により運営の安定化を図る内容であり、適切な財政運営に必要な予算として賛成する。(松野 真弓議員)

議案第21号 令和8年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算 ⑩

反対 ●後期高齢者医療広域連合は2期連続の保険料引き上げを決定し6,335円増の7万9,780円としている。これは市民の理解が得られるものではない。医療費窓口負担を1割負担に戻すことが必要だと考える。(堤 正明議員)

賛成 ●本会計は、後期高齢者医療制度の健全かつ円滑な運営を目的に設置されたものであり、令和8年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算についてはこの基本的な考え方により編成されたものであるから賛成する。(金子 哲也議員)

議案第22号 令和8年度那須塩原市介護保険特別会計予算 ⑪

反対 ●介護保険制度開始から3倍増になった介護保険料の負担の軽減と利用料負担割合2割化をやめること。また、特養ホームの増設を行い、入所待機者を解消し、要支援者・要介護者の健康と暮らしを守るよう求める。(堤 正明議員)

賛成 ●介護認定調査の安定化、人材確保、介護予防の推進に加え、総合事業サービスB・Dの拡充など必要な予算が確保されている。持続可能な介護体制の構築に資するものと評価し、賛成する。(林 美幸議員)

議案第28号 那須塩原駅周辺まちづくり基本計画の策定について ⑬

反対 ●反対討論はありませんでした。

賛成 ●計画の評価は、議決に足るべき内容が不十分であるが、議員全員協議会において、具体的な内容を定める「那須塩原駅周辺整備方針」も議決事件としたことから、執行部が一丸となってより良い駅前整備を行うことを願い賛成する。(小出 浩美議員)

議案第35号 令和8年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号) ⑮

反対 ●反対討論はありませんでした。

賛成 ●本補正予算の主なものは、水道料金の基本料金について、8月からの6月分を全額免除することに伴う歳出3億5,099万円、小・中・義務教育学校の学校給食費の無償化に伴う歳入4億1,107万7千円を計上するもので、家庭負担の軽減につながることから賛成する。(堤 正明議員)

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

※ ◎は委員長、○は副委員長
 【審査分野】市政全般、情報システム、防災、税など
 【委員】◎小島耕一○星宏子、赤塚茂昭、矢島秀浩、山形紀弘、相馬剛、大野恭男、齋藤寿一

那須塩原市職員の給与に関する規定が一部変更になります ⑥

問第2種初任給調整手当(給与が最低賃金に満たない場合に支給する手当)を導入することのことが、対象人数を伺う。

答現時点では該当ないが、会計年度任用職員などの初任給が最低賃金よりも低い状態になり、給与改定が間に合わないような場合を想定している。

問通勤手当の支給月額上限の引き上げと駐車場料金に係る手当を導入することのことがその金額の基準について伺う。

答国の基準に準じて算出する。

那須塩原市職員の寒冷地手当の支給対象者に、定年後の再任用職員が追加されます ⑦

問寒冷地手当の金額と、改正によって対象となる人数について伺う。

答寒冷地手当の金額は、世帯主か世帯主以外かで区分される。扶養親族ありの世帯主

は月1万9,800円。扶養親族なしの世帯主は月1万1,400円。世帯主以外の場合は月8,200円である。支給される期間は11月から3月までの間で、改正により対象となる人数は1名である。

塩原支所で管理する市有地を共益管理費の支払い手段として使用します ⑫

問市有地を共益管理費の支払い手段とした理由を伺う。

答平成14年に個人から寄付を受けた、上横林地内の分譲地に所在する市有地について、分譲地の管理事務所から直近5年間分の共益管理費として22万1,100円の請求を受けた。該当する市有地は246㎡で土地算定価格56万2,725円である。共益管理費の負担を認めた最高裁の判決を踏まえ、請求された共益管理費の支払い手段としてこの土地を譲渡し、将来的な負担解消を図りたい。

第23回 議場コンサート

- とき 令和8年6月9日(火)午前9時30分～9時50分
- ところ 那須塩原市役所本庁舎 4階 議場
- 出演 アンサンブルcozy

議場コンサートの後は市政一般質問を予定しております

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎佐藤一則○林美幸、松野真弓、星野健二、平山武、齊藤誠之、中村芳隆、金子哲也

那須塩原市介護保険条例が一部改正になります ②

問（特例減免に関する）今回の改正は、保険料の負担の急増を防ぐための対策か。
 答 急な負担増を防ぐための見直しである。

※地方税法の改正による介護保険料の急な減収を防ぐため、国は令和8年度に限り税制変更の影響を受けにくい特例を設けました。本市も、令和8年度の介護保険料の算定に当たっては、税制変更前と同様の基準となるよう、条例を改正します。ただし、令和7年度に非課税だった人については、この調整により、負担が大きくなってしまう場合があるため、10万円以内の収入増だったことにより課税扱いとなってしまう場合は、非課税扱いとなる特例の減免を併せて定め、負担が急に増えないよう措置を設けました。

那須塩原市国民健康保険税条例が一部改正になり、子ども・子育て支援納付金分が追加されます ①

問 子ども・子育て支援金制度に係る国への納付金について伺う。

答 市から国への納付金は8,012万円を見込んでいる。これに対し、被保険者から納付いただく金額は6,425万円を見込んでおり、不足分の1,587万円は国民健康保険財政調整基金から充当する予定である。

問 被保険者から納付いただく子ども・子育て支援納付金分の税率はどのように決めているのか。

答 県が算定した保険税率を参考に、所得割額（※前年の収入から計算する額）について0.2%と決定した。県の算定は0.27%であるが、小数点第2位を切り捨て、できるだけ被保険者の負担を抑えている。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、交通、水道など
 【委員】◎田村正宏○堤正明、戸張靖久、小出浩美、三本木直人、室井孝幸、森本彰伸、松田寛人

市営住宅に入居しやすいように現住所要件を無くします ④

問 入居しやすくするため本市に住所のない人でも入居を認めるということだが、入居者に住民票の異動は求めるのか伺う。

答 住民票の異動は求める。

条例で使われている「異常乾燥注意報」という言葉を「乾燥注意報」とします ③

問 火入れとはどのようなものか。畦畔焼きとは異なるのか伺う。

答 森林を健全に保つために下草を焼くことであり、畦畔焼きとは異なる。

問 条文中の異常乾燥注意報を、現在気象情報で使用されている乾燥注意報に改正するのは、全国的な流れであり、それに合わせた改正でよいか伺う。

答 昭和63年に改正されており、本来ならばチェックがかかっているべきものであるが、法令チェック業務委託などで、チェックがうまくいかなかった項目であると考え

ている。

上下水道に関する条例を人口減少などの実態に合わせ変更しました ⑤

問 変更後は最大汚水量が減少しているが、これは減った人数に掛け合わせた数字なのか伺う。

答 1人当たりの原（げん）単位というものを定めおり、それに計画人口を掛けた数字となっている。

市の重点施策である環境基本計画が改定されました ⑭

問 本計画におけるカーボンニュートラルの目標を達成したとき、地球環境に対する効果をどのように捉えているか伺う。

答 目標を達成したときの効果という点では、那須塩原市の豊かな自然、観光、市民生活などに効果を及ぼすものと考えている。

予算常任委員会

【委員】◎小島耕一 ○佐藤一則 ○田村正宏、その他全議員

固定資産税に関わる家屋評価が効率化されます ⑧

問 新しく導入する地番図システムと家屋評価システムがデータの連携が可能になることのメリットについて伺う。

答 現在、土地係では地番図システムを、家屋係では家屋評価システムを使い、同じ情報を二重に管理している。今回導入されるシステムによりGISで地図上での操作ができ、データの一元管理が可能となるため大幅な業務効率化が図られる。

不妊治療に助成金を出しています ⑧

問 扶助費の積算根拠を伺う。

答 不妊治療費助成が上限30万円で15件、先進医療費助成については上限が15万円で5件、不育症治療費助成については上限が30万円で1件計上している。また、女性に限らず男性も助成対象としており、年齢制限なく助成している。

引き続き、青木地区のゼロカーボンを進めます ⑧

問 新規整備（青木ゼロカーボン街区構築事業）4億1,954万円の内容について伺う。

答 青木地区のマイクログリッドを担うエネルギーマネジメントシステムの構築費用1億4千万円と蓄電池設備工事2億7千万円である。

国の入札・落札情報をWebで確認するシステムを導入します ⑧

問 調達情報システムの内容を伺う。

答 官公庁が自治体などに向けた工事期間の調達担当者向けの情報であり、全国の入札や落札情報を集約したもので、仕様書の作成や情報収集業務を効率化するためのウェブサービスである。

※GIS：地図上で情報を可視化し、分析・活用できるシステム

那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会

【審査分野】那須塩原駅周辺のまちづくり
 【委員】◎中村芳隆、○松田寛人、小島耕一、田村正宏、齊藤誠之、齋藤寿一

那須塩原駅周辺のまちづくりが始まります ⑬

問 気候変動による影響や首都圏直下型地震などの災害に対する視点が計画の方向性として示されていないが、考えを伺う。

答 災害時には新庁舎や新庁舎に付随する市民公園を避難場所として想定し、気候変動については、道路整備の際にゲリラ豪雨への排水対策などを検討していく。

問 市民にとって使いやすい駅にするため、体が不自由な方へ配慮し、車・バスが近くまで入れるような体制を考えながらウォークアブル空間を想定しているか。駐車場の利便性も伺う。

答 社会的弱者への配慮など利便性は確保しつつ、公共交通と一般交通の混在を整理しルール作りを行う。駐車場の必要性は認識しており、立体駐車場なども含めて再配置を検討していく。これまでより距離が離れる可能性があるが、この点についてはご理解いただきたい。

問 基本計画には具体的な整備方針が含まれ

ておらず、それらについて議会が最終的な議論や議決を行えないことが心配である。整備方針はどのような扱いで進めていくのか伺う。

答 整備方針については令和8年度のなるべく早い時期にお示しできるよう協議を進めるとともに、議会の関与を明確にするため、何らかの議決や承認をいただけるような方策をとり、皆様の了解を得た上で決定していきたい。

※「那須塩原市議会基本条例に規定する議会の議決事件を定める規程」に那須塩原駅周辺整備方針を追加することについては、令和8年3月17日の議員全員協議会で承認され、那須塩原駅周辺整備方針に議会が関与することとなりました。

市議会レポート

常任委員会活動報告

総務企画常任委員会、福祉教育常任委員会、建設経済常任委員会では、それぞれ、テーマを設定し、令和7年5月から令和9年3月までの期間で調査研究を進め、最終的に政策提言としてまとめます。令和8年5月は、この活動における折り返し地点のタイミングとなります。各委員会の取り組み状況を紹介します。

総務企画常任委員会

<調査研究テーマ>

- 移住・定住施策 ○市有財産の活用と管理
- 財源の確保

若者や女性に選ばれるまちを目指しながら、移住定住を促進するためには、財源の確保が重要です。ふるさと納税等自主財源の拡大や、民間活用による公共施設の財政負担軽減など、官民連携で取り組む必要があるため、このテーマを設定しました。

後半は、PFI等の民間活用法やガバメント・クラウドファンディングを調査し、市政の発展に資する実効性ある提案につなげていきます。



視察時の様子

福祉教育常任委員会

<調査研究テーマ>

- 困難な問題を抱える女性への支援 ○地域と学校の連携・協働のあり方

社会構造の変化により、女性の孤立や貧困、子どもを取り巻く環境の複雑化が進んでいます。支援の縦割りや地域のつながりの希薄化により、切れ目のない支援が困難となっている現状を踏まえ、実態把握と支援体制のあり方を検討するため、このテーマを設定しました。

前半の調査や視察を踏まえ、藤沢市のケアラー支援条例など先進事例を参考に、本市の実情に即した支援体制の構築に向けた調査研究を進めるとともに、議員提案による条例制定も視野に、具体的な検討を行います。



視察時の様子

建設経済常任委員会

<調査研究テーマ>

- 人口減少時代のインフラ維持・更新とコンパクトシティの推進
- 農業の担い手支援について

人口減少・高齢化に伴うインフラ維持費の増大や担い手不足が、今後の自治体にとってあらゆる面での重要な課題となる中、持続可能なまちづくりと地域農業の発展に向け、効率的な都市構造と農業支援の在り方を調査するためテーマを設定しました。

引き続き先進事例の調査や関係機関へのヒアリングを通じて課題を整理し、本市の実情に即した具体的な施策提言につなげるとともに、持続可能な地域づくりに資する方向性を明らかにしてまいります。



視察時の様子



シン・那須塩原
松田 寛人議員



子どもたちが健やかに育つ環境づくりについて

問小中学校体育館への空調整備について伺う。

答夏季の気温上昇により、体育館における熱中症リスクが高まっていることから、空調設備の整備は喫緊の課題であると考えている。国において学校施設の空調整備に対する交付金制度が示されたことから、令和8年度から工事に着手できるよう準備を進めている。

那須塩原駅周辺まちづくりの県北拠点づくりについて

問若者・女性から選ばれる地域について、具体的な取り組みについて伺う。

答市民一人一人が自分らしく暮らせる環境づくりに取り組んでいく。具体的には、移住相

1. 令和8年度の市政運営方針及び予算編成について

談のさらなる充実はもとより、台湾のアメリカンスクールへの短期留学支援など特色ある教育支援や、那須塩原駅周辺の本格的な整備の推進など、若者・子育て世代にとって魅力のあるまちづくりに取り組んでいく。

DXの本格展開について

問ゆーバスの交通系ICカードの整備について伺う。

答整備については、ゆーバス車内にICカードに対応する機器を導入するもので、現金払いに加えてキャッシュレス決済による運賃支払いも可能とし、利用者の利便性向上を図るものである。整備のタイムスケジュールについては、令和8年10月からの運用開始を目標に進めていきたいと考えている。



みらい共創
中村 芳隆議員



令和8年度予算編成と財政運営について

問令和8年度予算編成において、最も重視した政策分野は何か伺う。

答特色ある教育・子育て・ウェルネスの充実を図り、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進める。デジタル・トランスフォーメーションの推進により行政サービスの向上と地域課題の解決に取り組む。さらに、サステナブルビジョンの実現と県北拠点づくりを進め、若者や女性に選ばれる魅力あるまちづくりを着実に推進し、本市の価値向上を図る。

問ふるさと納税の令和8年度目標金額と達成に向けた取り組みについて伺う。

答目標金額については、本年度と同様に10億円を目指す。達成に向けては、魅力ある返礼品の開発をさらに拡充するとともに、効果的な広報戦略を継続的に展開し、本市の魅力

重点政策の具体化と成果指標の明確化を図る。また移住後支援と若年層定着施策の強化を求める。

発信を強化することで、寄附額の増加につなげていく。

人口減少対策と移住・定住施策の推進について

問これまで実施してきた移住・定住施策について、その成果と課題をどのように評価しているか伺う。

答移住相談支援や現地案内、補助金、SNS発信、交流会の開催により、東京圏を中心に20代から40代の移住者が増加した。近年は現役世代の移住が特徴である。一方で、多様化するニーズに対応するため、ターゲット別の施策や移住後のコミュニティ形成・フォロー体制の充実が課題である。



なすの会
小島 耕一議員



令和8年度市政運営方針について

問市職員のAI（人工知能）の利用に関する人材育成はどのように考えているのか。

答今年度、DXフェローの岡田陽介氏を講師に招き、プロンプト（指示）の出し方に関する研修を行った。また、ディープラーニング協会が実施するG検定に21名が合格している。

問中小企業を含めてAIの人材育成はどのように進めようとしているのか。

答業務スキルが多岐にわたるため、市でまとめて研修を受けさせる予定はないが、そのような仕組みができることが望ましい。

問チャットGPTといった生成AIの活用法の研修であれば可能ではないか。

答令和8年度はできないが、翌年度であれば商工会員の方々、創業を希望される方々に実

那須疏水も老朽化が激しい。米生産の担い手と水利権者との分離の中で、新たな管理体制が求められている。

施できるよう検討を進めたい。

農業水利施設の維持向上について

問多面的機能支払交付金を活用している組織の数と面積の推移はどのような状況か。

答平成26年度に50組織4,000ha、令和元年度39組織、3,000ha、令和6年度、39組織2,500haということで、面積が減っている。

問多面的機能支払交付金を活用する組織数と面積が減っている原因は何か伺う。

答制度の改正が多く、高度化、複雑化している中で担い手が高齢化していることが原因と考えられる。

問事務負担の軽減をどう考えているのか。

答事務担当者に対する書類作成の相談会の開催とともに、様式の簡素化を提案している。



森本 彰伸議員



文化芸術活動への支援について

問ART369を評価するにあたり、関係人口増加があったとのことだが、数値的な調査は行っているのか伺う。

答関係人口に関する指標として、市の魅力を推奨したいと思う市民の割合を指標にしており、策定時で39.4%だったものを2021年に50%にするという目標を立てていた。実績として、令和元年のときの調査で、推奨したいという市民の割合で76.1%という数値が出ている。もう1つは、アートに係る人材と連携した事業を行うことというのも指標としており、4回という目標だったところ、実績として25回やっている。指標に対する実績はかなり高い数値が出ている。

問スポーツにおける関東・全国大会以上の出場者への激励費を芸術文化分野へ拡大する考

文化芸術の花が咲く魅力的な那須塩原市に想いをはせて質問しました。

えについて伺う。

答現在スポーツ分野では、全国大会等への出場に対して激励費を交付している。芸術、文化分野においても、現在のスポーツ分野の制度と同等の支援の在り方について検討が必要と認識している。

問今までスポーツ関係に対しては激励費を出し、文化、芸術活動に出していなかったという部分で、スポーツ分野と芸術、文化分野で支援の考え方が異なることについて、合理的な理由はあったのか伺う。

答合理的な理由を答えるのは難しいが、芸術、文化分野での大会の定義の幅が広く、基準を設けることが難しい。これまでなかなか検討から、実現という段階に行っていない。

※ART369：板室街道が主に県道369号であることから命名。アートの地域を盛り上げるプロジェクト。



公明クラブ
田村 正宏議員



令和8年度市政運営方針について

問4月から県内で初めて開校される予定の学びの多様化学校「プリズム」の概要について伺う。

答不登校児童生徒の増加に対応するため設けられた学校で、通常は年間1,015時間必要な授業時間を約840時間に抑えつつ、文部科学省が認める特色ある教育課程により、進級や卒業が可能となる仕組みの学校である。

問小中学校体育館への空調設備の設置計画について伺う。

答現在の計画では、令和8年度に三島・西那須野・厚崎・東那須野中学校を対象とし、翌年度に残る4中学校を整備。その後は小学校について、4校ずつ段階的に整備を進めていく予定である。

問那須塩原駅周辺まちづくり事業は将来の人

那須塩原駅周辺の発展を市全体の発展に繋げるために、これまでの経験を教訓とした中身の伴うまちづくりに期待する。

口動向、財政見通し、整備後の維持管理までを見据えた身の丈に合ったものにするべきであると思うが見解を伺う。

答駅周辺整備は移住・定住促進により人口増に寄与し、国の補助や有利な起債で財政負担を抑制する。エリアマネジメントにより維持管理を図り、将来世代に価値ある資産を残す施策と考える。

成年後見制度と市民後見人制度の活用促進について

問本市における制度の利用状況を伺う。

答成年後見制度については、令和7年10月1日現在で135名の方が利用している。市民後見人については、市として養成事業を行っていないことから利用者はいないものと認識している。



松野 真弓議員



「市民ひとり1スポーツ」によるスポーツ・健康まちづくりの現状と今後の課題について

問第2期那須塩原市スポーツ推進基本計画の目的について伺う。

答市民が生涯にわたり、それぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、健康や交流を増進するとともに、スポーツによる地域活性化を通じたまちづくりを目的としている。

問市民がスポーツに触れる機会を増やすための今後の課題について伺う。

答スポーツに対する関心は高いが、スポーツを実施している市民の割合は6割程度にとどまっていることが課題である。スポーツに触れる様々な機会を通じて、参加者が興味を持ち、自分たちで仲間を募り、裾野を広げていく活動につながるよう取り組んでいきたい。

「市民ひとり1スポーツ」で人と人とのふれあいを広げ、健康なまちづくりを。

本市における狂犬病予防接種の現状と取り組みについて

問直近の予防接種率について伺う。

答令和8年1月末現在、今年度の予防接種が済んでいるのは4,227頭であり、接種率は73.9%であった。

問狂犬病予防法や予防接種の告知、啓発の方法について伺う。

答狂犬病予防法については、市ホームページで、犬の登録と年1回の狂犬病予防接種に関する情報を掲載している。また、予防接種の告知については、登録している犬の飼い主に対して集合注射の案内を郵送しているほか、広報なすしおばらの特集記事として情報を掲載し、集合注射の日程については市ホームページに掲載している。



佐藤 一則議員



人口減少対策について

- 問** 出生者数の推移の傾向について伺う。
- 答** 令和2年730人、令和3年687人、令和4年671人、令和5年601人、令和6年560人である。
- 問** 死亡者数の推移の傾向について伺う。
- 答** 令和2年1,176人、令和3年1,228人、令和4年1,362人、令和5年1,412人、令和6年1,384人である。
- 問** 合計特殊出生率の推移の傾向について伺う。
- 答** 令和2年1.30、令和3年1.25、令和4年1.23、令和5年1.13、令和6年1.10である。
- 問** 転入者の推移の傾向について伺う。
- 答** 令和3年4,035人、令和4年4,450人、令和5年4,295人、令和6年4,439人、令和7年4,392人である。

東京から新幹線で約1時間、多様な湧出を誇る温泉や豊富な生乳、新鮮な農産物を活かし移住・定住促進に繋がることを期待します。

- 問** 転出者数の推移の傾向について伺う。
- 答** 令和3年3,623人、令和4年4,012人、令和5年4,089人、令和6年4,123人、令和7年4,276人である。
- 問** 男女の出会い・結婚の支援について伺う。
- 答** 結婚サポートセンターを運営し、結婚相談や官民連携によるイベントを開催し、民間主催のイベントには10万円を上限に費用の助成を行っている。
- 問** 子育て支援環境の充実について伺う。
- 答** 妊産婦健診や妊産婦医療費助成、妊産婦のための支援支給、子育て応援券の配布、産後ケア事業、乳児家庭全戸訪問、子育てサロン、子ども医療費助成、放課後児童健全育成事業などを実施しており、令和7年7月に第6回日本子育て支援大賞を受賞した。



林 美幸議員



住宅確保要配慮者に対する支援について

- 問** 住宅確保要配慮者の居住支援における課題や対応について伺う。
- 答** 入居する際に入居にかかる情報提供や相談を受けてくれる居住支援法人が市内に2法人のみであり少ない。住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅セーフティネット住宅の認知不足、こういった総合的な情報不足が課題である。
- 問** 居住支援協議会の設置に向けた市の今後の方向性について伺う。
- 答** 住宅確保要配慮者に対する体制を整えるために、関係団体、その他の関係機関の意見を踏まえながら、居住支援協議会の設置に向けて検討していく。

生活困窮者自立支援には、官民連携の強化が扶助費を抑制する鍵となる。官民連携で県北地域のセーフティネットを強化する。

- 問** 生活困窮者自立支援事業の推進について
- 問** 複合的な課題で支援が長期化する場合、行政の制度支援に加え、民間団体による継続的な伴走支援が重要と考えるが、官民が役割分担しながら支援を行う必要性について所管部局の認識を伺う。
- 答** 民間団体と情報共有をしていくことが重要。民間団体が有する情報や柔軟性や機動性のメリットを活用して、官民が役割分担をしながら支援を行っていくということが、非常に有効である。
- 問** 次期地域福祉計画に、官民連携の有効性を明記する必要性について伺う。
- 答** 民間団体と情報をルールの下に共有をし、役割分担をした上で検討をしていく。



星 宏子議員



ヒトパピローマウイルス（HPV）感染による子宮頸がん及び関連がん対策について

- 問** 本市のHPVワクチンの直近の接種状況について伺う。
- 答** 令和7年度の接種件数は、令和7年12月時点で、781件。内訳は、定期接種が415件、令和6年度末までに1回以上の接種を行うことで、可能となる特例接種は366件である。
- 問** HPVは人から人へ感染するため、男性も咽頭がんや肛門がんなどを発症する。社会全体で予防していくため男性を対象としたHPVワクチン接種勧奨と接種費用助成制度に対する考えについて伺う。
- 答** 男性の接種の必要性を市民の認知を得る努力は必要であると考えている。

HPV ワクチン接種は男性も必要。トイレトレーラーは災害時必要。大切な命を守るため取り上げました。

- 問** トイレトレーラーの導入について
- 問** トイレトレーラーの導入や他自治体との共同利用、広域連携の考えについて伺う。
- 答** トイレトレーラーやトイレカーは、平時における利活用の方法や、あるいはトイレ及び自動車の維持管理費がかかるなど課題があることから、現在は民間企業との仮設トイレやトイレカーの借受けを含めた災害協定により対応したい。他自治体との共同利用や広域連携は、他自治体の導入状況や使用状況を注視し、導入の可否を含め研究していきたい。
- 問** トイレトレーラーを保有、または製造しているメーカーと災害協定を締結する考えはあるか伺う。
- 答** 実効性のある、本市に合った方法をしっかりと研究して備えていきたい。



小出 浩美議員



道の駅を核とした地域振興について

- 問** 国道4号と国道400号が4車線道路として交差する道路工事が烏ヶ森公園の近くで進んでいる。将来の車の流れを考えると、防災機能を兼ね備えた道の駅を烏ヶ森に設置することで、観光振興、産業振興、地域や道路通行車両の安全・安心につながると思われるが、市の考えを伺う。
- 答** その辺りは大変な車の流れが予測されるので、何かやりたいという思いはある。何かつくれば、きっとたくさんの方が来ると思っているので、非常に期待をしている。

那須野が原開拓の起工式が行われた烏ヶ森への道の駅設置、海外留学にも取り組む英語教育について質問しました。

英語教育推進事業の実績と今後の展開について

- 問** 中学生海外交流事業（姉妹都市オーストラリア・リンツへの派遣）は20年が経過した。

- 問** 生徒たちのその後の人生への影響について伺う。
- 答** 進路の選択肢を広げるという意味ではとても大きな役割を果たしている。語学系の学校へ進学した人、キャビンアテンダントになった人、海外の企業と連携したビジネスに携わっている人などがいるほか、20年前、第1期の派遣に参加し、現在、在ウィーン国際機関日本政府代表部で、正規職員として働いている女性もいる。20年を経て、大きな夢につながる成果をあげていると認識している。



矢島 秀浩議員



2030年を見据えたICT教育の深化と、一人一人に寄り添う不登校支援について

問 AI・ICT教育の現状と2030年に向けた展望について伺う。①現状と成果・課題、②生成AIの活用とリテラシー教育、③次期学習指導要領への考えを伺う。

答 ICT活用状況は県内トップを維持。意欲向上や個別対応に成果がある一方、デジタルとアナログの融合や指導力向上が課題である。生成AIは校務軽減を先行させ、児童・生徒には自ら問いを立てる「対話のパートナー」として活用してほしい。2030年に向け、AI環境を土台としつつ、五感や実体験を重視した人間性に根ざした学びを充実させていく。

問 AI・ICTを活用した「誰一人取り残さない」不登校支援について伺う。①早期対応

2030年に向けて那須塩原の子どもたちの教育環境がより良いものになっていく事を期待します。

へのAI活用、②家庭学習の出席・評価の柔軟な運用、③オンラインの学び場確保への所感を伺う。

答 端末による健康観察をAI分析し、組織的なスピード対応を実践。出席扱いや評価は、画一的な基準ではなく校長が児童一人一人の努力に寄り添い柔軟に判断する。オンライン授業も双方向性を重視し、安心して学べる居場所として確保している。

問 本市が描く2030年に向けた那須塩原市のAI・ICTを活用した教育のこれからについて伺う。

答 ICT化で生んだ「余白」を教職員の充実に充て、新しい学校文化を築く。AIを主体的に使い、幸せを実現できる子を育てる。多様な選択肢を増やし、一流の体験を通じて可能性を広げる環境を整えたいと思う。



戸張 靖久議員



スポーツを通じた健康づくりについて

問 本市におけるスポーツを通じた健康づくりの取り組み状況と成果について伺う。

答 子どもから高齢者まで参加できる大会や教室を実施している。キッズトライアスロンで103名、ボッチャで18チーム67名、健康フェスティバルで33名が参加し、運動機会の創出と習慣化につながっている。

問 指導者確保と人材循環の取り組みについて伺う。

答 スポーツ少年団等で育った人材が将来指導者として地域に関わる循環を重視し、ジュニアリーダー研修などを通じて次世代育成に取り組んでいる。

家族でスポーツに親しめる環境が広がり、世代を超えた交流と地域の活力向上につながることを期待します。

児童生徒の自主学習への支援について

問 児童生徒の自主学習の場の現状と課題について伺う。

答 図書館3か所、公民館15か所で学習スペースを開放し、Wi-Fiも整備しているが、テスト期間は利用が集中し席が不足することが課題である。

問 送迎支援の現状と課題について伺う。

答 ファミリーサポートセンターにより送迎等の支援が受けられるが、支援会員の不足が課題であり、体制強化が求められている。



堤 正明議員



水道料金・下水道使用料の見直しについて

問 水道は市民生活に欠かせないものである。水道料金について市の評価をお聞きする。

答 平成22年以降据え置きしている。今後、人口減少による収益の減に加え、物価高騰や施設の老朽化、対策費が増大する。現行料金のまま推移すると令和10年度に赤字、令和13年度には運転資金が不足する見通しである。よって、現在の料金水準のままでは安定した経営を継続することが困難な状態なことから、時代の要請に応えるためには乖離が生じていると見ている。

死亡・相続における手続きと支援について

問 高齢化社会の中、残った親族が行う手続きが多岐にわたり困難を極めている。手続きの簡素化・支援についてお聞きする。

水道料金値上げによって市民の負担が増えないよう水道料金を維持することを要望する。

答 手続きのワンストップ化は専用窓口を設置するのではなく、既に導入している書かない窓口システムを活用し本人の確認など手続きを最小限に抑え、必要な窓口を適宜案内するリレー方式的な運用で市民の負担が軽くなる手続きを目指している。

問 他自治体では、手続きを可能な限りワンストップで行うことができる予約制窓口、お悔やみコーナーを設置している。御遺族が移動することなく1カ所で手続きが完了するよう支援をしている。調査研究する考えはあるか。

答 利便性の高い取り組み事例があれば本市においても積極的に調査研究に努めていく。



山形 紀弘議員



リニューアルオープンした道の駅「明治の森・黒磯」について

問 リニューアル時に掲げた目的と目標に対する成果と評価について伺う。

答 出荷者と利用者の増加により、農業振興と観光振興、交流拠点化が進んでいる。

問 レストランの人手不足解消として地域おこし協力隊を道の駅運営に活用することを検討可能か伺う。

答 地域おこし協力隊については指定管理者の営業補助としての直接雇用は難しいが、市のPRや食・観光振興の一環としてレシピ開発や運営支援は可能であり活用は検討できる。

問 道の駅のトイレが未洋式化のため、改善支援が可能か伺う。

答 県は令和7年度にトイレ改修の設計を実施し、令和8年度に洋式化工事予定である。

道の駅を核に食と観光の魅力向上と地域経済活性化を図るべきと考えます！

問 那須塩原市の顔として道の駅を今後どう発展させるのか伺う。

答 高品質な野菜や乳製品、チーズなどの魅力を全国へ発信する食の拠点として道の駅の機能強化を図るべきと考える。

模擬議会を開催しました！

那須塩原市議会では、政治や議会活動への理解・関心を深めることを目的に、令和8年1月24日に「模擬議会」を実施しました。当日は10代の小学生から70代までの13名が模擬議員として参加し、市議会議員の視点に立って、日頃感じている思いや市政への提案を考え、意見表明を行いました。



模擬議員の皆さんと集合写真

子どもたちの地域見守り支援体制について
 独居高齢者や退職した方々に子どもたちの見守り活動に参加してもらうことで、一体感があり支えあう地域づくりが期待できることから、「地域で支える子ども見守りキャンペーン」を提案する。

(米竹玲音さん)



市内における交通弱者への対応について
 「ゆ〜バス」「ゆ〜タク」は無くてはならない移動手段の一つであるが利便性が悪く利用を見送る人もいます。問題解決に向け、新たな地域交通システムの検討を要望する。

(友利欣智さん)



次世代の子どもたちの支援制度について
 那須塩原市の子どもたちが分野を問わず夢を追えるよう、地域全体で支える温かな仕組みを作りたい。次世代の挑戦をみんなで守り、未来へつなぐ支援の検討を求めたい。

(田谷庸子さん)



集落支援員の導入について
 地域で森林保全活動を行う中で交通や空き家、買い物不便などの課題を感じた。聞き取りで得た住民の声を踏まえ、那須塩原市に集落支援員制度の導入を提案する。

(君島花奈さん)



学生の地域参加の促進について
 若者の定住意識を高めるため、学生が地域イベントの企画や運営に主体的に関わる機会を増やす仕組みづくりと、市による支援制度の創設について提案する。

(後藤杏奈さん)



未来的那須塩原について
 那須塩原駅周辺まちづくりの実証実験に参画しマルシェを開催した。多くの子どもたちに喜ばれたことから、今後は規模を拡大し活性化に市と共に取り組んでいきたい。

(松本弘基さん)



適応障害など病気の方への支援について
 精神疾患を抱える市民が安心して暮らせるよう、学校を卒業してからもつながる若年層への支援強化、就労支援の多様化、ピアサポートの場を創出し、家庭支援の充実を図るべきと考える。

(石田環さん)



生きづらさを抱える子ども・若者への支援について
 心や体のことで困った時は、作業療法士に相談ができ、困りごとの解決に向けて一緒に練習、訓練ができるなど「すぐ作業療法士に会えるまち」にすることが必要だと考える。

(渡邊結彩さん)



子育て支援に関わる情報発信の在り方について
 市の子育て支援制度や相談窓口、セーフティネットの情報が、市民の生活に思いのほか知れ渡っていない。情報格差が市民の孤独感や不安を招いている現状を解決すべきと考える。

(佐藤利行さん)



僕たちの今とこれからの未来について
 子どもたちは学校以外で交流できる場が少なく、部活動も環境不足で続けにくい。将来の仕事を知る機会も少ないため、安心して活動できる環境整備と職業体験の充実を求める。

(岡崎蒼侑さん)



どんな子でも集まれる場所について
 学童保育を利用せず、放課後に友達と遊べなかった経験から、学童保育に通わない子も含め誰もが自由に集い、学び遊び交流できる子どもの居場所を市内に作って欲しい。

(仲島 メロディー詩音さん)



行政における福祉専門職の活用について
 福祉の課題が増える中、専門性を高めるため、社会福祉士の採用や職種転換制度の整備を進める必要がある。

(菊地奏太さん)



子育て支援に関わる仕様書の壁について
 市立小学校から特別支援学校への転校を進められた場合、今まで利用していた公設放課後児童クラブが利用できなくなってしまうため、柔軟な対応を要望する。

(中山理枝子さん)



模擬議会を終えた感想

大変貴重な時間を過ごすことができました。自分以外の方の意見についても、今後那須塩原市で生活していく上で良い視点を得られたと感じました。(石田環さん)

自分の考えを声にして市に伝えることができたと感じました。(渡邊結彩さん)

今ちょうど地方の政治について勉強していたので、このように体験できることは座学では得られない経験がありとても良い企画だと参加して感じました。(後藤杏奈さん)

Future

～わたしの夢～ No.35

那須塩原市立豊浦小学校 6年

むろ い うらら
室井 麗さん

たくさん子ども達と

わ たしの将来の夢は、保育士になることです。小さい子どもが好きで、弟のお世話を普段からよくしているので保育士になりたいと思うようになりました。保育士なら、子どもとたくさん関わり、仲良くなれると思ったからです。夢を実現するために、これからの学校生活では先生の話をよく聞いて、テストでも100点をとれるように勉強を頑張りたいです。家では、本をたくさん読みたいと思います。算数よりも国語が苦手なので、国語の学習に力を入れたいです。今できることにしっかり取り組んで、夢に向かって努力したいです。



麗さんは、明るく前向きに学校生活を送っています。委員会などの仕事にも責任をもって取り組むことができ、学習にも熱心に取り組んでいます。また、バレー部のキャプテンとして、チームをまとめています。夢に向かって頑張る麗さんを応援しています。

(推薦者 緑川 奈穂子談)

議会 暦						
日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
					本会議 再開・提案説明	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 一般質問・議案質疑	常任委員会	常任委員会	常任委員会		
21	22	23	24	25	26	27
			議員全員協議会 予算常任委員会	本会議 採決・散会		
28	29	30	7/1	2	3	4

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。

本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

※会派代表質問は午前9時25分開始予定です。

次回予告

次号の議会だよりは
令和8年8月20日発行予定です。

～掲載予定内容～

- 特集取材
- 6月定例会議審査内容
(委員会審査、会派代表・市政一般質問等)
- Future ～私の夢～
- 議会暦 (9月定例会議日程)

編集後記

令和8年度が始まり、子どもたちは進級・進学という新たな一歩を踏み出しました。私たち大人も、それぞれの立場で穏やかに充実した日々を重ねていきたいものです。那須塩原市では新庁舎整備や駅周辺のまちづくりなど、大きな転換期を迎えています。議会としても市民の声に真摯に向き合い、分かりやすい情報発信に努めてまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。(森本 彰伸)